

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま新都心公園・周辺の無料公園
(2)施設概要	<p>1.さいたま新都心公園 ①所在地:大宮区北袋町1丁目190-24 ②施設の設置目的:都市住民全般の避難場所、防災活動拠点、休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供するため ③施設の概要:面積1ha (主な施設)集会室、芝生広場、にぎわい広場、複合遊具</p> <p>2.周辺の無料公園 ①所在地:市内各所 ②施設の設置目的:住民の休息、散歩、遊戯、運動等レクリエーションの場及び自然的環境の保全、改善、景観の向上を図るため ③施設の概要:広場、植栽、ベンチ、遊具 他</p>
(3)指定管理者	公益財団法人 さいたま市公園緑地協会
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和6年4月①日～令和11年3月31日 ②指定管理料 令和6年度 41,772千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 さいたま新都心公園(集会室) ・利用者数 3,342人(前年度 4,513人) ・利用率 21.7%(前年度 26.0%)</p> <p>◇業務実施状況 ・施設維持管理業務 ・利用者受付業務 ・集会室貸し出し業務 ・業務仕様書及び事業計画書による業務</p> <p>②維持管理業務の状況 ◇保守管理業務 ・管理棟、遊具、広場等 ◇日常清掃業務 ・管理棟、園内、広場、トイレ等 ◇定期清掃業務 ・管理棟、園内、噴水等 ◇植栽管理業務 ・特殊高木、高木、中木、低木剪定、生垣、芝生管理等</p>

③その他の業務

◇市民協働事業

・美化活動(三菱マテリアル株式会社/高沼遊歩道)

◇自主事業

①各種教室・イベント

さいたま新都心公園

・スポーツレクリエーション+寺子屋事業

スポーツ教室では専門講師によるかけっこ教室・ダンス教室等基礎体力の向上と、寺子屋では専門講師による日々の学習の補助として、そろばん教室やプログラミング教室などスポーツをする上での創造性・問題解決能力など知力を鍛えた。併せて、食育や家族団らんの大切さを再認識する機会を提供するため、一般社団法人さいたま子ども食堂ネットワークと連携した事業を展開した。

・ミセスチアダンス教室

笑顔でいきいきと活動できる場、地域のコミュニティづくりの一助として35歳以上の女性を対象として開催した。

・Parkマルシェ

公園の魅力向上や賑わいの創出、ならびに地元生産者と消費者をつなぎ、地産地消の推進や地域コミュニティの形成のためParkマルシェを開催した。

・防災フェア

さいたま市総合振興計画基本計画「災害に強く、市民と共につくる安全・安心なまちづくり」の実現に向け、行政、関係機関及び地域が連携し、市民全体の防災意識の醸成を図り、安全で安心に暮らせるまちを目指すことを目的に、一時避難拠点としての防災機能を有するさいたま新都心公園において、地域住民の防災や減災に関する意識を高めるために実施。また防災面だけではなく、地域住民のコミュニティ形成、賑わい創出のため、Parkマルシェ等を合わせて開催することで、公園を起点としたエリアマネジメントや地域の活性化により公園の魅力向上を図った。

・スポコミフェス2024

スポーツ・レクリエーション体験会や公園の賑わい創出、来園を促進するイベントを開催した。

・北袋プレイ&マーケット

地域の子育て世代と地域団体との交流のきっかけづくり、また、北袋町エリアの賑わい創出や来園促進等を目的に開催した。

②事故防止啓発事業

「あおぞらウインクルム保育園(大宮区)」

③清涼飲料水等の自動販売機の設置

④バッテリーカー施設の設置・運営

「スポコミフェス2024」、「防災フェア」開催時に実施。

⑥ふわふわ遊具の運営

「スポコミフェス2024」、「防災フェア」、「さいたまマーチ」開催時に実施。

⑦段ボール迷路の運営

「スポコミフェス2024」開催時に実施。

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 296千円 ・指定管理料 41,772千円 <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 22,678千円 ・事務費 3,892千円 ・施設管理費 15,498千円 <p>【自主事業】</p> <p>①収入 3,258千円</p> <p>②支出 3,188千円</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>基本協定書に基づくアンケート調査について、今まで公園利用者を対象に実施していたが、近隣住民に視点を変えて幅広く意識調査を行った。12月から1月、2月から3月に利用者アンケートを計2回実施し、公園管理の設問では、「大変良い」、「良い」評価を多数頂戴した。</p> <p>【市民からの意見・要望等】</p> <p>①さいたま新都心公園 公園北西部出入口の車止めが見つらいというご意見があり、反射板を設置した。</p> <p>②高沼遊歩道 樹木剪定</p> <p>③一の鳥居ひろば 毛虫消毒</p> <p>④北袋公園 樹木剪定</p> <p>⑤平和台公園 砂場清掃</p>
(8)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・共同事業体による運営委員会等を開催し、指定管理業務の遂行等について協議を行った。 ・「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」・「サイクルフェスタ」、「さいたまーチ」の運営協力。 ・さいたま市消防局より防災広報車(地震体験車)の受け入れ。 ・さいたま新都心公園に隣接する造幣局主催イベントの協力(のぼり及び案内表示のパネル設置)

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
「サービス向上に向けた取り組み」	<ul style="list-style-type: none"> ○各公園の自治会活動について、利用調整を図り地域に親しみやすい公園づくりに取り組んだ。 ○ロケーション等、撮影の依頼について、積極的に受け入れた。 ○「公園NOTE」を活用し、巡回時に発見した情報を共有することで、素早い対応や点検に関する資格保有者との相談可能となり、利用者の安全確保に努めた。 ○新規イベント・事業の展開。 ○基本協定書に基づくアンケート調査の実施。 ○キッチンカーの出店及びParkマルシェを定期的に開催。 ○防災機能を有する公園の特色を活かしたイベントを開催。
「指定管理業務に係る経費」・経費縮減のための取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ○職対による簡易的な修繕及び作業の取り組みを行った。 ○樹木管理における安全面確保の観点から不要枝の剪定・切除を職員で実施した。 ○電子決裁の活用による業務の効率化を図った。 ○契約方法を電子に変更し、コスト面等の縮減を行いDX推進を図った。

<p>「管理運営体制」 ・危機管理対策について</p>	<p>○「危機管理規程」、「情報セキュリティ規程」及び危機管理マニュアルに基づき、管理体制の検証を定期的実施した。また、台風等の接近時には危機管理部会を開催し、状況に即した準備、対応を行った。 ○救命救急に係る研修、情報セキュリティ研修、個人情報保護に係る研修等を実施し、全職員の危機管理意識の向上に努めた。 ○公園等施設を『安全・安心・快適』にご利用いただくため、また職員の心身の健康を守るために、カスタマーハラスメントに対する基本方針を策定した。</p>
---------------------------------	---

3 評価

(1) 指定管理者による評価

<p>①「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」 【グループ共通】 ○各公園の自治会活動について、利用調整を図り地域に親しみやすい公園づくりに取り組んだ。 ○ロケーション等、撮影の依頼について、積極的に受け入れた。 ○「公園NOTE」を活用し、巡回時に発見した情報を共有することで、素早い対応や点検に関する資格保有者との相談可能となり、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>【さいたま新都心公園】 ○エリアマネジメントによる新規イベント・事業の展開を図った。(北袋プレイ&マーケット・埼玉メディカルラリー・いちご祭り等) ○基本協定書に基づくアンケート調査について、今まで公園利用者を対象に実施していたが、近隣住民に視点を変えて幅広く意識調査を行った。 ○公園利用者の情報発信の場として、掲示板を設置し、利便性及び利用率向上を図った。 ○キッチンカーの出店及びParkマルシェを定期的開催し、賑わいを創出した。 ○男子トイレにサンタリーボックスを設置した。 ○防災機能を有する公園の特色を活かし、大宮消防署氷川参道出張所の協力のもと近隣住民参加型の防災イベント(防災フェア)を開催した。</p> <p>【新都心さくら広場】 ○公園利用者の利便性を図るため、アイスの自動販売機を設置した。</p>
<p>②「経費の削減」 職対による簡易的な修繕及び作業の取り組みを行った。 【グループ共通】 ○樹木管理における安全面確保の観点から不要枝の剪定・切除を職員で実施した。</p> <p>【さいたま新都心公園】 ○トイレ清掃を外注せず、現地職員が行っている。 ○集会室長机修繕 ○不陸補修</p> <p>【新都心東広場】 ○水景ロープ修繕 ○木製デッキ板修繕</p> <p>【高沼遊歩道】 ○滝設備の洗浄を実施し、環境美化に努めた。</p> <p>【平和台公園】 ○樹液等の汚れが目立つため、定期的にベンチ等の洗浄を実施した。</p>

③「適正な管理運営の確保」

【グループ共通】

- イベント開催や樹木剪定を実施する際は、事前に自治会や近隣住民へ内容が分かる資料を配布し、周知を図った。
- 強風や台風等による被害発生時は、状況確認を速やかに行い、所管課へ情報共有を図った。
- 公園施設点検技士による定期的な点検及び講習会を開催した。
- 専門業者による遊具点検を実施し、指摘箇所については速やかに修繕手続きを行った。
- 「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を策定・掲示し、協会職員の心身の健康を守るとともに、公園施設の適正利用を促すことで、市民・利用者との良好な関係の構築に努めた。
- クビアカツヤカミキリムシ調査などについて、市所管課からの依頼に対し迅速かつ適正に対応した。
- 防犯カメラの取り扱いについて、警察からの捜査依頼を受け、迅速かつ適正に映像を提供した。
- 盗難が続いているトイレの配管・フラッシュバルブ等について、マーキングを施し被害拡大防止に努めた。

【さいたま新都心公園】

- 隣接している企業の敷地にボールが入り込まないように、貼紙による注意喚起を促した。
- イベント開催前にステージ及びスピーカーの位置を入念に協議し、近隣に配慮した管理を行った。
- 自動販売機に防犯カメラを増設し、防犯対策の強化を図った。

【さいたま新都心公園・周辺無料公園】

- 大規模イベント開催前の計画的な除草、樹木剪定の実施。
- 「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」・「サイクルフェスタ」・「さいたまーチ」の運営協力を行った。また、ふわふわ遊具の設置やキッチンカーの出店を行い、公園の賑わい創出を行った。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:都市局 みどり公園推進部 北部公園整備課)

総合評価 (A) ※A~D

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組み

公園利用者のみならず、近隣住民からもアンケート調査を行い、問題点を把握し、改善に努めた。さいたま新都心公園では、防災機能を有する公園の特色を活かし、消防署の協力のもと近隣住民参加型の防災イベントを開催した。

②経費の削減に関する取組

修繕業務について、可能である限り職員による補修を行い、修繕費削減に努めていた。

③適正な管理運営の確保に対する取組み

定期点検を適切に実施し、施設の維持管理に努めている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

今後の修繕等業務に関しては、以下の2点に注意すること。

①業者から提出を受けるべき書類について、進行管理に努め、日付や記載内容の確認を行った上で、適切に保管すること。

②施工の前・中・後等の写真を施工日や件名等を記載した黒板付きで撮影し、提出させること。

また、提出された報告書はよく確認を行い、日付等が誤っている箇所については、注記の追加や修正・再提出を求めること。